

局長級人事異動 知事コメント

(令和7年3月26日)

- 1 今春の局長級人事は、緊迫する国際情勢や気候危機、人口減少・少子高齢化など、先行きが見通せない不確かな社会において、都政の新たな羅針盤となる「2050 東京戦略」に基づき全庁を挙げて強力に政策を推進していくため、実力本位の配置を行った。
- 2 谷崎都技監、佐藤政策企画局長、佐藤総務局長、山下財務局長については、トップマネジメントを引き続き強力に補佐しながら諸課題に即応できるよう留任とした。
- 3 医療 DX 等の推進が求められる保健医療局長には、実行力と調整力に優れた山田デジタルサービス局長を、その後任には、GovTech 東京の舵取りに尽力してきた高野デジタルサービス局理事を配置し、都民の「手取り時間」を増やす鍵となる DX を全庁的に推進していく。
- 4 福祉局長には、全庁的な視野と優れた調整力を有する高崎環境局理事を配置し、港湾局長には、事業推進力に定評のある田中人事委員会事務局長を配置する。
- 5 新設する都民安全総合対策本部、スポーツ推進本部、スタートアップ戦略推進本部の長には、豊富な経験を有し、所管事業に精通している竹迫生活安全担当局長、渡邊生活文化スポーツ局次長、吉村スタートアップ・国際金融都市戦略室長をそれぞれ登用する。
- 6 交通局長には、組織運営力に優れた堀越労働委員会事務局長を、水道局長には、バランス感覚に優れ、安定感のある山口福祉局長を配置し、下水道局長には、局事業の知識・経験が豊富な藤橋下水道局計画調整部長を抜擢する。
- 7 その他の局長等については、局の課題を踏まえつつ、能力・実績を重視した配置を行った。
- 8 今回の新任発令は、4月1日付で実施する。